

「図書委員選書」展示コーナーを新設

「学生向けに、LCセンターで所蔵したい図書」を、各学科の図書委員の先生方が選ぶ「図書委員選書」。これまで新刊図書の棚に配架してきましたが、2020年秋学期より、「図書委員選書コーナー」を新たに設けました。2階カウンター横に平置きしています。

また、LCセンターのホームページでも、図書委員選書タグから、過去の図書委員選書本を探すこともできます。

皆さんの利用をお待ちしています。



図書委員選書コーナー

「新型コロナウイルス」感染防止にご協力をお願いします。

- ・館内ではマスクの着用、手指の消毒をしましょう。
- ・手に取った本は、書架に戻さず「返本台」に置きましょう。
- ・ソーシャルディスタンスを保ちましょう。
- ・オープンスペースでは、1テーブルにつき、1人で利用しましょう。



ご協力をお願い致します。



オープンスペース



手指の消毒

ライブラリーサポーターを募集しています。

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いして下さる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募お待ちしております。

応募資格：本学に在籍する学部生・院生（学科・学年不問） 無償ボランティアでの活動となります。

活動期間：年度単位。月1回程度のミーティング。
イベントや作業中はその都度集まります。

活動内容：ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営
LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

応募方法：LCセンターにて配布の応募用紙を2Fカウンターに提出。



選書ツアー



イベント企画・運営

『青塔』春号を発行しました。

春号は、大学生活や研究テーマを中心に、主に退任の先生方にご寄稿いただきました。

LCセンター内で配布しています。ご自由にお持ちください。

リポジトリでも公開中です。

LCセンター2階特集展示

4/12(月)~5/17(土)「新生活」

新しいことを始める皆さんへのおすすめ本の特集。

5/17(月)~6/12(土)「先生と先輩がすすめる本」

250文字ブックレビューの紹介図書を展示します。

開館カレンダー (変更になる場合があります。)

2021年 4月 April							5月 May							6月 June							7月 July						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3							1			1	2	3	4	5					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
							30	31																			

通常開館日	9:00-20:30	休館日	日曜・祝祭日・本学休業日	短縮開館日	9:00-17:00	変更開館日	9:00-18:00
-------	------------	-----	--------------	-------	------------	-------	------------

息抜きの散歩道 Vol.15

編集・発行/日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
発行日：2021年4月10日 ホームページ <https://library.nit.ac.jp>

「息抜きの散歩道」は2014年の春に創刊しました。今回は、2014年度から2020年度までの貸出数に注目してみましょう。

★貸出が最も多かった図書
貸出回数：37回

★貸出が最も多かった特集展示
貸出回数：100冊



『高電圧工学（電気・電子工学基礎シリーズ；5）』
安藤晃 犬竹正明/著
朝倉書店/刊

配架場所：6階
請求記号
541.33/A 47



『パソコンから高校数学 関数グラフソフト「GRAPES」で図形の性質を簡単マスター』
友田勝久 堀部和経/著
講談社/刊

配架場所：2階文庫・新書
請求記号：081/Bb/BC09



2018年 10月22日(月)~11月24日(土)
「先生と先輩がすすめる本」

LCセンターでは、年に10回ほど「特集展示」を行っています。テーマを決めて、関連する図書を紹介することにより、皆さんと本の出会いの場になっています。

貸出回数100回の展示は、学生が書店で本を選ぶ「選書ツアー」の図書を中心に、大学院生と教員のおすすめ本も紹介する「先生と先輩がすすめる本」でした。学生が選んだ本ということが、皆さんにとって、より身近に感じられたのではないのでしょうか。

2020年度は、新型コロナウイルスの感染防止のため、遠隔授業が実施され、電子ブックに注目が集まりました。2021年の春学期からは、原則として対面授業です。この春からは、LCセンターで紙の本にも親しんでみては、いかがでしょうか。

貸出ランキング (1位 貸出回数5回)

集計期間：2020年10月1日～2021年3月31日

- 『システム同定の基礎』 足立修一著 東京電機大学出版局/刊
- 『フラーレン・ナノチューブ・グラフェンの科学：ナノカーボンの世界』 [基本法則から読み解く物理学最前線 5] 齋藤理一郎/著 共立出版/刊
- 『最新SPI3完全版』 [2020年度版] 柳本新二/著 高橋書店/刊
- 『8割が落とされる「Webテスト」完全突破法!』 [2021年度版 1] SPIノートの会編著 洋泉社/刊
- 『最新最強のエントリーシート・自己PR・志望動機』 [21年版] 成美堂出版編集部/編 成美堂出版/刊
- 『生分解性プラスチックの素材・技術開発：海洋プラスチック汚染問題を見据えて』 望月政嗣/監修 エヌ・ティー・エス/刊
- 『品質工学講座 4 品質設計のための実験計画』 田口玄一/等編 日本規格協会/刊

電車で、カフェで、ページをめくっているあの人は、
どんな本を読んでいるのでしょうか？

250文字ブックレビュー

先生のオススメ本から、
新たな扉、開いてみませんか。

『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン/著 新潮社/刊

491.37

H 29

配架場所：5階

大事な時間をスマホに奪われていませんか。スマホの利用制限にどれほどの効果があるのかわかりませんが、教室では講義内容に集中したいものです。

今回紹介する本は2019年刊行の世界的ベストセラーの日本語版です。私たちの日常生活には欠かせなくなったスマホやタブレット端末が子供や若者にどう影響を与えるかを問いかけています。精神科医である著者の、人間の進化の見識と研究成果に基づく考察は示唆に富んでいます。集中力が無くなってきたスマホ初心者の私にも、実に興味深い一冊です。

黒津 高行（LCセンター）

『「死」とは何か：イエール大学で23年連続の人気講義[完全翻訳版]』

シェリー・ケーガン/著 文響社/刊

114.2

Ka 16

配架場所：3階

この本は、米国イエール大学の教員が担当講義の内容を詳しく解説したものです。人間の死について考察された哲学の入門書で、20歳前後の若者に一度は「死生観」について考えて欲しいという著者の意図が汲み取れます。古今東西を問わず、人間が大人になるときに避けては通れないテーマの一つが人間の死でしょう。著者は、「人間は死んだらどうなるのか?」、「魂は存在するのか?」といった疑問について、宗教には一切触れずに哲学的な考察を展開しています。この本を読み終えると、一日の過ごし方が劇的に変わるのではないのでしょうか。

増本 憲泰（機械工学科）

『トコトンやさしいゲノム編集の本』 宮岡 佑一郎/著 日刊工業新聞社 /刊

467.25

Mi 81

配架場所：5階

“今日からモノ知りシリーズ”として、日刊工業新聞社から発行されている1冊です。このシリーズでは、様々な分野の最新事情を分かりやすく解説しています。今回紹介する本では、2020年度ノーベル化学賞に輝いたゲノム編集という新しい遺伝子組換え技術について扱っています。従来の遺伝子組換えと違い、ゲノム編集を使うと狙った部位の遺伝情報を書き換えることができます。この本では、研究の背景や応用技術に至るまで、ゲノム編集について分かりやすく解説しています。身近になりつつある新しい技術です。一読をお勧めします。

芳賀 健（応用化学科）

『でたらめの科学：サイコロから量子コンピューターまで』 勝田 敏彦/著 朝日新聞出版 /刊

417.6

Ka 87

配架場所：4階

科学は『でたらめ』では駄目だが、『乱数』という『でたらめ』は科学の対象であり、我々の生活にすぐ役立つ。例えばネット通販などでも使われている『暗号』には、乱数が重要な役割を果たしている。本書の文章には、高校生やもっと若い人たちが読むことができる、わかりやすさの配慮がある。『でたらめ』に関わっている研究者などへのインタビューも多く、顔写真も掲載されている。私が大学院博士課程でお世話になった統計数理研究所や、指導教員だった田村先生も登場される。乱数の歴史、作り方と使われ方、その未来がみえる一冊です。

生駒 哲一（電気電子通信工学科）

『シンギュラリティ・コンクエスト 女神の誓約(ちかひ)』 山口 優/著 徳間書店/刊

913.6

Y 24

配架場所：8階

人工知能を扱ったSF作品は巷にあふれているが大体は暴走して人間を殺し始める。この作品もその方向に転がっていく。他の作品と違うのは「どうせ殺されるなら美少女ロボットのほうが良いよね?」といった萌え要素を大量に入れ込んでいるところ。そして「なぜ美少女ロボットか?」が次第にわかり始める。実は現実の人工知能開発で最前線となっている「身体性」が物語の根幹を成す事が少しずつ解説され、「美少女ロボット」の必然性が理解できるようになる。人工知能研究者の著作だが、ハッピーエンドにつなげていく力量は並ではない。

中里 裕一（ロボティクス学科）

『ガイドツアー 複雑系の世界：サンタフェ研究所講義ノートから』

メラニー・ミッチェル/著
紀伊國屋書店/刊

404

Mi 59

配架場所：4階

知能や生命のメカニズムは非常に複雑だと言われています。科学、そして工学の研究対象としても興味深いものですが、この複雑さは、例えばスパコンを使うなどして、計算を頑張ることで克服することができるのでしょうか。それとも、本質的に新しい考え方が必要なのでしょうか。1984年、「複雑なシステムの扱い方」を見つけ出すことを目的としてサンタフェ研究所が設立されました。本書は、そこで行われた、とても刺激的な、様々な取り組みを紹介しています。知能や生命、経済といった複雑なシステムに興味がある方におすすめします。

佐藤 進也（情報メディア工学科）

『トカトントン』 太宰 治/著 岩波書店/刊 「ヴィヨンの妻・桜桃 他八篇」所収

913

D 49

配架場所
2階文庫・新書

学生の頃、印象に残った太宰治らしい作品を紹介します。この小説は、青年が作家に送った手紙と、その返事から構成されています。手紙には、青年が社会へ一歩踏み出そうとすると、「トカトントン」という音が聞こえてきて、無気力になってしまう、この音から逃れるにはどうしたら良いか、との作家への相談が書かれています。

手紙を送った青年の悩みは、実は太宰自身の悩みであり、作家の返事も太宰が発したものであろうと言うことが、読み進むと分かってくる、考えさせられる短編小説です。

田中 実（建築学科）

『ドーナツを穴だけ残して食べる方法』 大阪大学ショセキカプロジェクト/著 大阪大学出版会 /刊

002

O 73

配架場所：3階

「ドーナツを穴だけ残して食べるには?」から始まる本書。「バカバカしい」「そんなことは不可能だ」と言えばそれまでですが、この難問(奇問?)に対して、文系・理系12分野の研究者が各々の専門分野の立場から、この問題にチャレンジします。しかも、みなさんかなり本気です。テーマは共通なので、分野ごとの問題へのアプローチの違いが際立ち、その分野特有の研究手法・作法も垣間見えます。難しい内容を含みますが、「大学での勉強や研究とはどういうものか」を存分に感じられますので、新入生には手にとってもらいたい一冊です。

高岡 邦行（共通教育学群）